

平成24年度あいさつ運動推進標語
小学生の部最優秀賞 福岡俊太さん

片瀬・江の島まちづくり協議会



第十九号
発行日 2016年(平成28年)3月25日
発行 片瀬・江の島まちづくり協議会
(片瀬地区郷土づくり推進会議)
発行人 会長 長谷川 紀夫
事務所 片瀬市民センター内
0466-27-2711 FAX0466-25-8907
Kata-city, fujiwara, kanagawa, jp
片瀬地区ポータルサイト
<http://fujiwara-katase.ecom-plat.jp/>

地区集会 郷土魅力を語り合いました

片瀬・江の島まちづくり協議会では、『片瀬・江の島マニア大集合！郷土魅力をとことん語り合おう～400年の蔵出しワークショップ～』と題して、2月27日(土)13時30分から片瀬市民センターにおいて、平成27年度第2回地区集会を開催しました。

第一部で活動報告を行い(まちづくり通信第二十号で報告致します。)、第二部でワークショップを行いました。当日は、総勢70余人が出席し、片瀬・江の島の郷土魅力について大いに語り合い、新たな魅力を発見するとともに、今後、オリンピックを迎えるにあたり、私たちが紹介できる郷土魅力を再認識することができました。

◆第二部は、はじめに司会より片瀬・江の島の魅力を映像で紹介しました。それから5つの班に分かれて参加者同士のグループトーク前半がスタート。協力者として江の島・藤沢ガイドクラブも各班に入り、参加者から片瀬・江の島の好きなところや、とっておきの郷土魅力ネタを話していただきました。途中、中間共有タイムとして、各班から盛りあがっているテーマを発表していただきました。グループトーク後半では、前半に出たテーマ話題のほりさげを行いました。最後には今後に向けて、地域の魅力を来訪者に何をアピールしていくべきか、片瀬に転入してきた人や次世代にどのように伝えていけば良いか考えていきました。

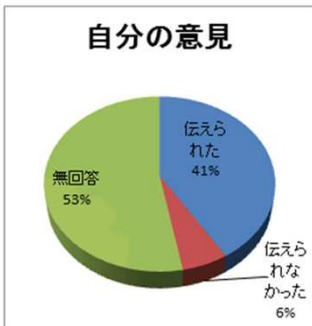
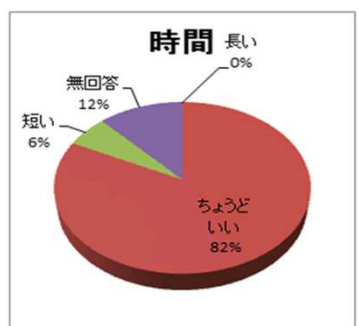
※詳細は裏面をご覧ください。
◆最後に、片瀬山市民の家の再整備計画について市民自治推進課より情報提供がありました。閉園予定の片瀬山幼稚園の跡地に市民の家を移設することに向け、協議を進めていくとのこと。今後の進捗状況につきましては、地区集会やまちづくり通信等でお知らせいたします。



アンケート集約結果

- ◆第一部まちづくりトピックスについてのご意見
 - 活動の詳細がわかり、とてもよくまとまっていた。
 - 「事業の今後の方向性」は活動団体と事前の話し合いをしましたか。 ○事業のチェック&見直しを。
- ◆今後とりあげたいテーマ
 - 名所、旧跡、観光関係。
 - 防災計画の現状 (3.11から5年後の成果を)
 - 昭和39年の東京オリンピックの時の状況や取り組みを知り、2020年に向けて今後の取り組みをテーマに。
- ◆日頃感じている地域の課題・ご感想
 - 川名～片瀬・鶴沼間の道路建設計画。
 - 地域活動に参加する方に若手がない。
 - 土日の交通混雑。○生活道路の安全対策を。
 - 川や道路の管理の範囲。県か市か警察かわからない。
- ◆まちづくり活動についてのご意見
 - 片瀬みななどには標のようなものを建てて。

- ◆ワークショップの感想
 - 昔から片瀬に住んでいる方の「証言」は貴重。
 - 今日の話記録として残していただければ。
 - 旧地名(東り町、下の谷など)をおまつりの時だけでなく、何かの形で残していければ。
 - 小グループの話し合いの形はとてもいい。
 - 昔の片瀬の話や沢山聞くことができ楽しかった。
 - 40～50年前のまたは昭和初期などの片瀬の地図が欲しいと思いました。
- グループトーク



昔の片瀬・江の島

脈々と受け継がれる
郷土歴史も魅力の1つ

こんな魅力も・・・

多くの人に
知ってもらいたい！

- 江の島は西暦552年にできた説がある。
- 青銅の鳥居は木造だったが、今のは2代目。
- ミネベア付近に集落があり、その後馬喰橋～本蓮寺と集落が広がっていった。
- 一遍上人は鎌倉に入れずに、4ヶ月半片瀬の浜の地蔵堂で踊り念仏を行った。
- 龍口寺一帯は鎌倉時代、都の外縁部ということで処刑場だった。常立寺の辺りからは当時処刑したと思われる人骨が発掘された。
- 境川の新屋敷橋あたりに「片瀬みなと」という港があり、海から運んできた品物を、その港で小さい船に乗せかえて、藤沢(宿)の方まで運搬していた。その「片瀬みなと」を利用していた漁業関係者が鳥居を寄進し、今もなおその寄進者の名前が鳥居に刻まれている。
- 江戸時代には幕府の鉄砲場があった。
- 龍口寺の穴ぐらは、処刑された人を片瀬の人々がとむらった。
- 明治時代に江ノ電を敷設する際に、人力車組合が反対し用地が難航したため、大地主が用地を提供した。
- 昭和初期には、今の龍口寺のところに「龍口園」という施設(遊園地)があった。龍口園は、五重の塔と同じ高さの展望台になっていて、エレベーターもあった。眺めがとても良かった。
- 片瀬には乃木大将の像があった。
- 西浜橋から50m先の駐在所前にラジウム鉱泉があった。西浜橋周辺は西浜銀座と言われていた。
- 片瀬目白山にはメジロがたくさんいた。
- 諏訪神社の横にため池があり、釣りもできた。
- 片瀬小学校前には牧場があった。
- 片瀬山には砲台が4つあった。
- 昔の「江の島道」は砂利道で、お祭りの時に山車を引っ張るのが大変だった。
- 近所で臼、杵を貸し借りをして正月にお餅つきを家族でしていた。
- 海の砂浜でよく遊んだ。片瀬には素晴らしい砂浜があるのに、今の子どもたちはあまり遊んでいないようだ。
- 川で泳いだりして遊んでいた。うなぎや、めだかもいた。ベーゴマや片瀬こまもやっていた。
- 子どもも地引き網のお手伝いをしていた。

日常生活から感じる魅力

住んでいる地域の
魅力、気づいて
いますか！？

- 地域を大切に思っている、心あたたかい人が片瀬・江の島には多い。 ○交通の便が良い。
- 気候が暖かい。 ○はまぐりラーメンがおいしい。
- 地域活動が盛ん。社会福祉協議会や花植え活動をしており、毎日充実している。
- 片瀬に戻ってくるとホッとします。

(お願い) 参加者からあげられた郷土魅力を各班の書記が聞き取り、そのままご紹介しております。過去の記憶、歴史の言い伝えもあるため一部信憑性に欠けるくだりもあるかと思いますが、ご了承ください。

- 諏訪神社はその名のとおり諏訪の神社だが、全国の諏訪神社で上社下社があるのは片瀬だけ。
- 江の島は弁財天という女の神様がいるから、カップルが行くと弁天様がやきもちをやいて二人を別れさせるとい説がある。・・・実は、パートナーを連れて行かないで心置きなく遊ぶための男が作った都市伝説である!?

お祭り

お祭りも時代によって
変化しています

- 片瀬はお祭りが活発だが一時期衰退していたこともある。
- 屋号によって太鼓のたたき方やリズムが微妙に違う。
- 諏訪神社例大祭は昔は7月に行われていた。7月は忙しいため現在の8月になった。
- 諏訪神社のお祭りは上社、下社と1年ごと交互に行われていた。
- 町内会ごとに御神輿があった。御神輿も自分たちで作り、それを担いでいた。
- 公民館まつりでも御神輿があった。片瀬にお祭り好きの人が多い象徴では。

さらに魅力のあるまちに！

私たちに
何が
できる！？

- 屋号を残していくことは大事。下の谷、西方、新屋敷、東り町、西浜。お住まいは？と聞くと片瀬■丁目というような返答ではなく、西方ですといったように屋号で返答する人が多い。
- 江の島を鎌倉市と思っている人が多い。
- インフラを整備していかないと住みにくくなる。
- マスコミへもっとPRし、テレビ等で紹介してもらえば観光客誘致につながるのではないかな。
- 前回のオリンピックは地元民は関わることができなかった。その反省から江の島を良くする会ができた。今回は地元民はどうやって世界の人々をおもてなしできるだろうかと盛りあがっているが、行政の動きはまだ見えない。
- 前回のオリンピックは秋だったが今回は夏。道路渋滞等すごいのに、さらにどうなるのか心配。
- オリンピックに向けて、宿泊施設が少ない。選手だけでなく報道機関や観客も来るが大丈夫か。
- 道路が狭い。
- 「ぼたもち」をキーにまちおこしを！
- 片瀬は富士山の見え方がとても綺麗。片瀬・江の島ビュースポットを周知したらどうか。
- 絶景スポット10を作ったらどうか。
- 片瀬・江の島だけでなく、近隣の鵜沼や鎌倉とタイアップしてもよいのではないかな。江の島道は片瀬・江の島地区だけではないですよ。
- 江の島以外の商店街が少し寂しい気がする。

参加者70名余でも書ききれないほどの片瀬・江の島地域の魅力が語られました。まだまだ知られていない地域の魅力がたくさんあるはずですよ。今後さらに魅力あるまちづくりを進めてまいります。